

落語で人権を考える



1月21日、橘総合センターで周防大島町人権教育推進大会が開催されました。オープニングは安下庄小学校3、6年生児童による合唱で、息の合ったコーラスを披露。式典に続いて人権教育啓発作品の表彰と紹介が行われました。



記念講演では、落語家の笑福亭松枝さんが「落語で考える人権」と題して古典落語を交えながら楽しく語り、「もつたいない」という言葉は環境や命を大切にすることにつながる」と伝えました。

大島ライオンズクラブから育成支援

大島ライオンズクラブから結成45周年記念事業の一環として、久美保育所と久賀保育園に園児すこやか育成支援事業資金が寄贈されました。お昼寝用のおねしょシートも寄贈され、支援事業資金では画板やおもちゃなど保育に必要なものを購入。久美保育所では、子ども達がさっそく新しい画板を使って熱心に絵を描いていました。

お昼寝も安心のシート



森野小学校 ソニー教育財団の教育助成事業に入選

森野小学校(校長・恒松徹生、全校児童数35名)が「ソニー子ども科学教育プログラム優秀プロジェクト校」に選ばれました(最優秀プロジェクト校2校、優秀プロジェクト校19校、努力校89校)。最優秀校、優秀校は中国地方では、ただ1校です。

周防大島町の豊かな自然環境を生かした「海を感じる学習」や小規模校を生かした「エネルギー環境学習」等が評価されました。森野小学校では、自然、人、自分自身へのかかわりの中で、学びにロマンを感じる「科学好きな子ども」を育てようとしています。理科担当の磯部祥生教諭は、「科学の魅力はロマン」であり、「理科教育の本当の楽しさは、未知のものと初めて出会う感動から生まれる」と話しています。近年、子どもたちの理科離れや理数系学力の低下が嘆かれています。今年度、日本人4名が受賞したノーベル物理学賞や化学賞を目指す子どもが、この周防大島町から生まれるかもしれません。



授業での実験風景